

暫定規制値を超えて放射性物質が検出された牛肉の流通状況と検査状況について

福島県の浪江町の農家から出荷された肉牛 229 頭のうち 12 頭から暫定規制値を超える放射性セシウムが検出されました。

その内の 3 頭の牛肉が市内の食肉販売店で販売されていたことがわかりましたのでお知らせします。なお、3 頭のうち 1 頭は市内の小学校給食に使用されていたことが判明しております。

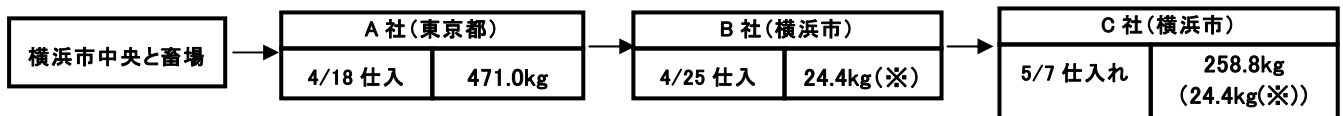
また、福島県が本日の記者発表で、検査未実施の 216 頭のうち 5 頭について、暫定規制値以下だったことを発表しており、その内の 1 頭が市内の小学校給食に使用されていました（福島県プレス参照）。

1 当該牛肉の流通状況等

No.	個体識別番号	生産地	と畜月日	と畜場	放射性セシウム検査結果 (Bq/Kg) 検査自治体	横浜市調査結果			
						入荷日	入荷量	販売店所在地 (業種)	状況
①	03393-07580	福島県	4月15日	横浜市中央と畜場	719 (川崎市)	5月7日	24.4kg(※)	横浜市金沢区 C社(食肉販売業)	全量給食原材料で消費済み (販売日:5月13日)
②	06963-03102	福島県	4月15日	横浜市中央と畜場	593 (川崎市)	5月6日	0.8kg	横浜市戸塚区 (食肉販売業)	全量販売済み (販売日:5月6日)
③	03108-08211	福島県	4月15日	横浜市中央と畜場	668 (川崎市)	5月6日	0.6kg		

(食品衛生法上の食肉の暫定規制値：放射性セシウムの合計 500Bq/kg)

【①の流通経路について】



※C社は、当該品の 24.4kg に別の 7 頭の牛肉を 234.4kg 混ぜ、合計 258.8kg にして納入し、その肉は小学校 16 校の食材として使用しました。

2 学校給食への提供状況

(1) 提供日及び提供メニュー

5月13日肉じゃが

(2) 提供された可能性のある小学校

下記の 16 校ですが、別の牛肉と混合されているため、どの学校で使用されているか不明です。

柏尾、東戸塚、深谷、深谷台、舞岡、俣野、南舞岡、笠間、小菅ヶ谷、西本郷、和泉、葛野、

下和泉、中田、中和田南、東中田

(3) 健康への影響

暫定規制値は、1年間食べ続けても影響の無い量を想定しています。今回、給食に提供された牛肉は、一食当たりの量が30gと少なく、仮に提供された牛肉全てが放射性セシウムを719 Bq/kg含む牛肉だったとしても、実効線量として0.00026mSv程度となり健康に影響を及ぼすものとは考えられません。

(4) 同農家から出荷された肉牛の小学校給食での使用状況

詳細は別紙のとおりです。なお、使用状況については、教育委員会事務局ホームページでも公表することとし、新しい情報が入り次第、随時更新します。

お問い合わせ先		
横浜市保健所食品衛生課長	桃井 宏之	Tel 045-671-2435
横浜市教育委員会事務局健康教育課長	清水 文子	Tel 045-671-3234